

眼科検査機器出力データ共通仕様書 0 1 (JOIA・STD)

ー レフ・ケラトメーター・眼圧計・レンズメーター 出力データ共通仕様書 ー

1. データ種別

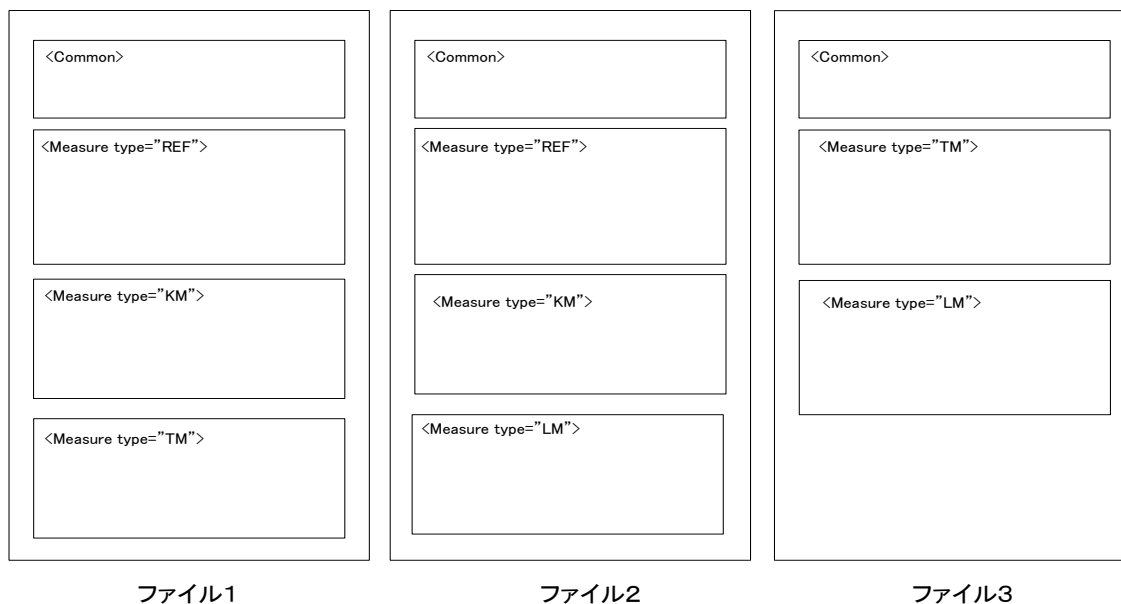
1-1. ファイルの取扱い

1 つの XML ファイル内でレフ、ケラト、眼圧、レンズメーター等の複数のデータ種別を扱えることを可能とする。1 ファイルでレフ、ケラト、眼圧、レンズメーターを纏めても良いし、それぞれ別のファイルに分けても構わないものとする。

一つのファイルには 1 個のデータ種別のみとする。(例) 一つのファイルに 2 個の LM データ種別が含まれることは許されない)

ファイル内では、トップタグとして<Ophthalmology>タグを持ち、その中に各データ種別毎のタグが存在する。以下に XML ファイル内のデータ種別の構成例を示す。

■ファイル内のデータ種別構成例



※トップタグとして<Ophthalmology>タグを持つ。

※1 ファイルに全てのデータ種別を纏めても良いし、ファイル毎に分けても良い。

※他の眼科検査機器出力データ共通仕様書(02～)にて定義されているデータ種別についても、1 ファイルに纏めることが可能です。

※JOIA 仕様に含まれていないデータ種別が存在した場合、認識されないデータ種別として処理を行わず、認識されるデータ種別のみ処理を行う。

1-2. データ種別取扱い

レフ、ケラト、眼圧等のデータ種別は、＜Measure＞タグの属性値(type)として保持する。

■属性値と種別

属性値 (type)	種別
REF	レフデータ
KM	ケラトデータ
TM	眼圧データ
LM	レンズメートルデータ
.	.

以下にレフ、ケラト、眼圧データを持つ場合の例を示す。

ex) レフ、ケラト、眼圧、レンズメートルデータを持つ場合

```
<Measure type="REF">    <— レフデータ
. . . . .
</Measure>
<Measure type="KM">    <— ケラトデータ
. . . . .
</Measure>
<Measure type="TM">    <— 眼圧データ
. . . . .
</Measure>
<Measure type="LM">    <— レンズメートルデータ
. . . . .
</Measure>
```

1-3. 文字コードについて

XML ファイル内の文字コードは UTF-8 もしくは UTF-16 とする。

1-4. スタイルシートの記載について

XML ファイル内でのスタイルシートの記載は任意とする。

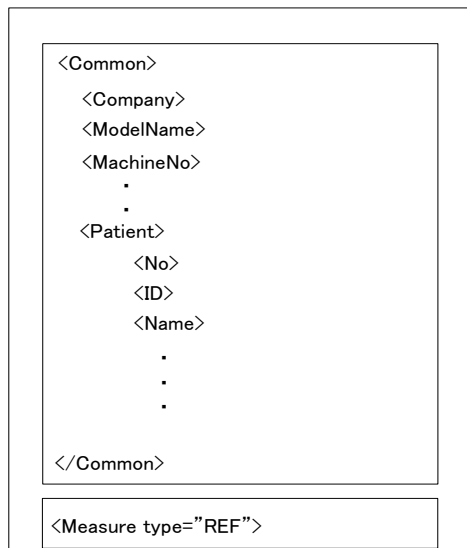
2. 共通データ

2-1. 共通データの取扱い

患者情報などの共通データは、＜Common＞要素に含める。 共通データは 1 ファイル内に 1 つ

存在することとなる。（共通データの要素については「4. タグ定義」を参照）

■ファイル内の共通データ例



3. データ定義

3-1. データ型定義

レフ、ケラト、眼圧、レンズメーター等の各データ種別のタグの要素は、XML スキーマにより定義する。スキーマにより各タグにおける値のデータ型も定義される。またスキーマ定義により、必須タグであるか重複を許すか等も決定される。

3-2. 単位の取扱い

数値データの単位については、属性値"unit"として記載する。

ex) レフの Sphere データ

```
<Sphere unit="D">0.25</Sphere>
```

4. タグ定義

以下の表で必須カラムに記載事項は、以下の意味を持つ。

Any : 任意タグであり、タグ自体省略可能とする。

無印 : タグも必要としない。

△印 : タグは必須であり値が空でも可とする。

○印 : タグも値も必須とする。

※下位タグは上位タグが存在する場合に必須かを記載しています。

■眼科タグ

タグ名	説明	データ型	必須
<Ophthalmology>	眼科データを表す	-	○

■共通データ

タグ名	説明	データ型	必須
<Common>	共通タグ	-	○
<Company>	社名	string(64 文字)	○
<ModelName>	機種名	string(64 文字)	○
<MachineNo>	同機種区別番号	string(64 文字)	△
<ROMVersion>	器械の ROM バージョン	string(64 文字)	△
<Version>	XML 仕様バージョン(固定)	string(64 文字)	○
<Date>	日付(年月日)	date	○
<Time>	時間(時分秒)	time	○
<Patient>	被検者	-	○
<No>	患者 No.(検査実施順の番号)	string(64 文字)	△
<ID>	被検者 ID	string(64 文字)	○
<PatientIDSource> ※1	被検者 ID 取得情報	String (unreliable, manual, auto device, auto patient list)	
<FirstName>	被検者の名(ローマ字)	string(64 文字)	△
<MiddleName>	被検者のミドルネーム	string(64 文字)	△
<LastName>	被検者の姓(ローマ字)	string(64 文字)	△
<Sex>	被検者の性別	string(M,F,O)	△
<Age>	被検者の年齢	int	△
<DOB>	被検者の誕生日	date	△
<NameJ1>	多国語の被検者の名前	string(64 文字)	△
<NameJ2>	多国語の被検者の名前	string(64 文字)	△
<Operator>	操作者	-	
<No>	操作者 No.	string(64 文字)	△
<ID>	操作者 ID	string(64 文字)	△
この箇所には、各社固有の任意のタグ定義を可とする			any

※1:<PatientIDSource>タグの各データ型の意味は以下の通りです。

unreliable — 被検者 ID として有効ではありません (例えば、デバイスで生成した検査番号など)

manual — 装置で手動入力された被検者 ID

auto device — 装置で自動入力された被検者 ID (例えば、バーコードなど)

auto patient list — 電子カルテやオーダーリングシステム等から送られた検査リストから選択された被検者 ID

■レフデータ

タグ名	説明	データ型	必須
<Measure type="REF">	検査種別タグ	-	○
<VD unit="mm">	角膜頂点距離	double	○
<DiopterStep unit="D">	度数ステップ	double	△
<AxisStep unit="deg">	角度ステップ	int	△
<CylinderMode>※1	シリンダーモード(-,+,mix)	string(-,+,mix)	△
<CycloplegicMode>	調節麻痺剤の使用	string(cycloplegic, non-cycloplegic)	
<REF>			
<R>	右眼測定データ	-	
<List No=" " >	測定値(1～n 回)	-	○
<Sphere unit="D">	球面度数(D)	double	○
<Cylinder unit="D">	乱視度数(D)	double	○
<Axis unit="deg">	乱視軸(°)	int	○
<SE unit="D">	等価球面度(D)	double	△
<CataractMode>	CAT モード	string(64 文字)	△
<IOLMode>	IOL モード	string(64 文字)	△
<ConfidenceIndex>※2	信頼係数	string(64 文字)	△
<List No=" " >	測定値(エラーの場合)	-	
<Error>※2	エラー文字	string(64 文字)	△
<Median> ※3	代表値	-	
<Sphere unit="D">	球面度数(D)	double	○
<Cylinder unit="D">	乱視度数(D)	double	○
<Axis unit="deg">	乱視軸(°)	int	○
<SE unit="D">	等価球面度(D)	double	△
<L>	左眼測定データ	-	
<List No=" " >	測定値(1～n 回)	-	○
<Sphere unit="D">	球面度数(D)	double	○
<Cylinder unit="D">	乱視度数(D)	double	○
<Axis unit="deg">	乱視軸(°)	int	○
<SE unit="D">	等価球面度(D)	double	△
<CataractMode>	CAT モード	string(64 文字)	△
<IOLMode>	IOL モード	string(64 文字)	△
<ConfidenceIndex>※2	信頼係数	string(64 文字)	△
<List No=" " >	測定値(エラーの場合)	-	
<Error>※2	エラー文字	string(64 文字)	△
<Median> ※3	代表値	-	
<Sphere unit="D">	球面度数(D)	double	○
<Cylinder unit="D">	乱視度数(D)	double	○
<Axis unit="deg">	乱視軸(°)	int	○
<SE unit="D">	等価球面度(D)	double	△
<PD>	瞳孔間距離	-	

<WorkingDistance unit="cm">	近業距離	int	△
<Distance unit="mm">	遠用 PD	double	○
<Near unit="mm">	近用 PD	double	△
この箇所には、各社固有の任意のタグ定義を可とする			
			any

※1: < CylinderMode >タグの各データ型の意味は以下の通りです。

“+” = 乱視度数の符号は常にプラス

“-” = 乱視度数の符号は常にマイナス

“mix”= 全ての経線の屈折値がプラスの場合、乱視度数の符号はプラス。それ以外の場合の符号はマイナス

※2: < ConfidenceIndex >タグ及び< Error >タグのストリングデータはメーカーが定めた仕様であり、JOIA では定義しません。

※3: 複数の屈折測定値が送られるが < Median > が送られない場合がある。「電子カルテシステム」や「ファイリングシステム」は、複数の測定データから代表値を求めることを強く推奨します。

■ケラトデータ

タグ名	説明	データ型	必須
<Measure type="KM">	検査種別タグ	-	○
<DiopterStep unit="D">	度数ステップ	double	△
<AxisStep unit="deg">	角度ステップ	int	△
<CylinderMode>※1	シリンダーモード(-,+,mix)	string(-,+,mix)	△
<RefractiveIndex >	角膜屈折率	double	○
<KM>			
<R>	右眼測定データ	-	
<List No=" ">	測定値(1～n 回)	-	○
<R1>	弱主経線	-	○
<Radius unit="mm">	曲率半径	double	○
<Power unit="D">	屈折力	double	○
<Axis unit="deg">※2	軸角度	int	○
<R2>	強主経線	-	○
<Radius unit="mm">	曲率半径	double	○
<Power unit="D">	屈折力	double	○
<Axis unit="deg">※2	軸角度	int	○
<Average>	R1 と R2 の平均値	-	○
<Radius unit="mm">	曲率半径	double	○
<Power unit="D">	屈折力	double	△
<Cylinder>	乱視量	-	○
<Power unit="D">	乱視度数	double	○
<Axis unit="deg">	軸角度	int	○
<List No=" ">	測定値(エラーの場合)	-	
<Error> ※3	エラー文字	string(64 文字)	△
<Median>	代表値	-	
<R1>	弱主経線	-	○
<Radius unit="mm">	曲率半径	double	○
<Power unit="D">	屈折力	double	○
<Axis unit="deg">※2	軸角度	int	○
<R2>	強主経線	-	○
<Radius unit="mm">	曲率半径	double	○
<Power unit="D">	屈折力	double	○
<Axis unit="deg">※2	軸角度	int	○
<Average>	R1 と R2 の平均値	-	○
<Radius unit="mm">	曲率半径	double	○
<Power unit="D">	屈折力	double	△
<Cylinder>	乱視量	-	○
<Power unit="D">	乱視度数	double	○
<Axis unit="deg">	軸角度	int	○
<L>	左眼測定データ	-	

<List No=" ">		測定値(1～n 回)	-	○
<R1>		弱主経線	-	○
<Radius unit="mm">		曲率半径	double	○
<Power unit="D">		屈折力	double	○
<Axis unit="deg">※2		軸角度	int	○
<R2>		強主経線	-	○
<Radius unit="mm">		曲率半径	double	○
<Power unit="D">		屈折力	double	○
<Axis unit="deg">※2		軸角度	int	○
<Average>		R1 と R2 の平均値	-	○
<Radius unit="mm">		曲率半径	double	○
<Power unit="D">		屈折力	double	△
<Cylinder>		乱視量	-	○
<Power unit="D">		乱視度数	double	○
<Axis unit="deg">		軸角度	int	○
<List No=" ">		測定値(エラーの場合)	-	
<Error> ※3		エラー文字	string(64 文字)	△
<Median>		代表値	-	
<R1>		弱主経線	-	○
<Radius unit="mm">		曲率半径	double	○
<Power unit="D">		屈折力	double	○
<Axis unit="deg">※2		軸角度	int	○
<R2>		強主経線	-	○
<Radius unit="mm">		曲率半径	double	○
<Power unit="D">		屈折力	double	○
<Axis unit="deg">※2		軸角度	int	○
<Average>		R1 と R2 の平均値	-	○
<Radius unit="mm">		曲率半径	double	○
<Power unit="D">		屈折力	double	△
<Cylinder>		乱視量	-	○
<Power unit="D">		乱視度数	double	○
<Axis unit="deg">		軸角度	int	○
<Pupil>		瞳孔径データ	-	
<R>		右眼測定データ	-	
<PupilSize unit="mm" Lamp = "on","off">		瞳孔径	double	△
<L>		左眼測定データ	-	
<PupilSize unit="mm" Lamp = "on","off">		瞳孔径	double	△
<Corneal>		角膜径データ	-	
<R>		右眼測定データ	-	
<CornealSize unit="mm"> ※4		角膜径	double	△
<L>		左眼測定データ	-	

	<CornealSize unit="mm"> ※4	角膜径	double	△
この箇所には、各社固有の任意のタグ定義を可とする				any

※1: <CylinderMode>タグの各データ型の意味は以下の通りです。

“+” = 乱視度数の符号は常にプラス

“-” = 乱視度数の符号は常にマイナス

※2: “Axis” という用語は臨床現場で良く使用される口語表現です。しかし、ケラト測定で角膜の経線を表す正しい光学用語は “meridian” です。

※3: <Error>タグのストリングデータはメーカーが定めた仕様であり、JOIA では定義しません。

※4: <CornealSize unit="mm">タグに入る角膜径はを水平方向に測定した値であるが、測定がどのようになされたのかは特定しません。最も一般的な使用事例は「from white to white」ですが、他も存在します。

■眼圧データ

タグ名	説明	データ型	必須
<Measure type="TM">	検査種別タグ	-	○
<TM>			
<R>	右眼測定データ	-	
<List No=" ">	測定値(0～n 回)	-	
<IOP_mmHg unit="mmHg">	眼圧値(mmHg)	double	○
<IOP_Pa unit="kPa">※2	眼圧値(kPa) or (hPa)	double	△
<ConfidenceIndex>※1	信頼係数	string(64 文字)	△
<Average>	平均値	-	○
<IOP_mmHg unit="mmHg">	眼圧値(mmHg)	double	○
<IOP_Pa unit="kPa">※2	眼圧値(kPa) or (hPa)	double	△
	↓エラーの場合		
<Error>※1	エラー文字	string(64 文字)	△
<L>	左眼測定データ	-	
<List No=" ">	測定値(0～n 回)	-	
<IOP_mmHg unit="mmHg">	眼圧値(mmHg)	double	○
<IOP_Pa unit="kPa">※2	眼圧値(kPa) or (hPa)	double	△
<ConfidenceIndex>※1	信頼係数	string(64 文字)	△
<Average>	平均値	-	○
<IOP_mmHg unit="mmHg">	眼圧値(mmHg)	double	○
<IOP_Pa unit="kPa">※2	眼圧値(kPa) or (hPa)	double	△
	↓エラーの場合		
<Error>※1	エラー文字	string(64 文字)	△
<CorrectedIOP>			
<Formula1 No=" ">	補正式 1 (0～n 個) ※3	-	
<R>	右眼データ	-	
<Param1 unit="mm">	パラメータ1(mm)	double	△
<Param2>	パラメータ 2	double	△
<CCT unit="mm">	中心角膜厚	double	△
<Measured>	測定値	-	
<IOP_mmHg unit="mmHg">	眼圧値(mmHg)	double	○
<IOP_Pa unit="kPa">※2	眼圧値(kPa) or (hPa)	double	△
<Corrected>	修正値	-	○
<IOP_mmHg unit="mmHg">	眼圧値(mmHg)	double	○
<IOP_Pa unit="kPa">※2	眼圧値(kPa) or (hPa)	double	△
<L>	右眼データ	-	
<Param1 unit="mm">	パラメータ1(mm)	double	△
<Param2>	パラメータ 2	double	△
<CCT unit="mm">	中心角膜厚	double	△
<Measured>	測定値	-	
<IOP_mmHg unit="mmHg">	眼圧値(mmHg)	double	○

	<IOP_Pa unit="kPa">※2	眼圧値(kPa) or (hPa)	double	△
	<Corrected>	修正値	-	○
	<IOP_mmHg unit="mmHg">	眼圧値(mmHg)	double	○
	<IOP_Pa unit="kPa">※2	眼圧値(kPa) or (hPa)	double	△
この箇所には、各社固有の任意のタグ定義を可とする				any

※1 : < ConfidenceIndex >タグ及び< Error >タグのストリングデータはメーカーが定めた仕様であり、JOIA では定義しません。

※2 : パスカル表記の眼圧値の単位(<IOP_Pa>タグの属性)については、"kPa"、"hPa"どちらの使用も可とします。

※3 : Formula1(修正眼圧補正式)について

Formula1 の修正眼圧値の算出には、以下の補正式を使用します。

修正眼圧値 = 測定眼圧値 + 眼圧補正值

眼圧補正值 = (Param1 × 1000 - CCT × 1000) × Param2

補正係数 : Param1 : パラメータ 1 基準となる角膜厚 (mm)

CCT : 中心角膜厚 (mm)

Param2 : パラメータ 2 補正量調節係数 (0.0001 ~ 1.0000)

■ レンズメーター

タグ名	説明	データ型	必須
<Measure type="LM">	検査種別タグ	-	○
<MeasureMode>※1	測定モード (Normal, Progressive, Contact)	string(64 文字)	△
<DiopterStep unit="D">	度数ステップ	double	△
<AxisStep unit="deg">	乱視軸角度ステップ	int	△
<CylinderMode>※2	シリンダーモード(-,+,mix)	string(-,+,mix)	△
<PrismDiopterSetp unit="pri">	プリズム度数ステップ	double	△
<PrismBaseStep unit="deg">	プリズム基底角度ステップ	int	△
<PrismMode>※3	プリズムモード	string(pb,xy)	△
<AddMode>※4	加入度数モード	string(add,nsph)	△
<LensLabel>	Lens Label	String (64 characters)	
<LM>			
<S>※5	シングル測定値	-	
<Sphere unit="D">	球面度数(D)	double	○
<Cylinder unit="D">	乱視度数(D)	double	○
<Axis unit="deg">	乱視軸(°)	int	○
<SE unit="D">	等価球面度数(D)	double	△
<ADD unit="D">	加入度数(D)	double	△
<ADD2 unit="D">	第二加入度数(D)	double	△
<NearSphere unit="D">	近用部球面度数(D)	double	△
<NearSphere2 unit="D">	第二近用部球面度数(D)	double	△
<Prism unit="pri">	プリズム度数(Δ)	double	△
<PrismBase unit="deg">	プリズムベース角度(°)	int	△
<PrismX unit="pri" base="out">	水平プリズム度数(Δ) (base=in,out)	double	△
<PrismY unit="pri" base="up">	垂直プリズム度数(Δ) (base=up,down)	double	△
<UVTransmittance unit="%">	UV 透過率(%)	int	△
<ConfidenceIndex>※6	信頼係数	string(64 文字)	△
<S>※5	シングル測定値(エラーの場合)		
<Error>※6	エラー情報	string(64 文字)	△
<R>	右側測定値	-	
<Sphere unit="D">	球面度数(D)	double	○
<Cylinder unit="D">	乱視度数(D)	double	○
<Axis unit="deg">	乱視軸(°)	int	○
<SE unit="D">	等価球面度数(D)	double	△
<ADD unit="D">	加入度数(D)	double	△
<ADD2 unit="D">	第二加入度数(D)	double	△
<NearSphere unit="D">	近用部球面度数(D)	double	△
<NearSphere2 unit="D">	第二近用部球面度数(D)	double	△
<Prism unit="pri">	プリズム度数(Δ)	double	△

	<PrismBase unit="deg">	プリズムベース角度(°)	int	△
	<PrismX unit="pri" base="out">	水平プリズム度数(△) (base=in,out)	double	△
	<PrismY unit="pri" base="up">	垂直プリズム度数(△) (base=up,down)	double	△
	<UVTransmittance unit="%">	UV 透過率(%)	int	△
	<ConfidenceIndex>※6	信頼係数	string(64 文字)	△
<R>		右側測定値(エラーの場合)		
	<Error>※6	エラー情報	string(64 文字)	△
<L>		左側測定値	-	
	<Sphere unit="D">	球面度数(D)	double	○
	<Cylinder unit="D">	乱視度数(D)	double	○
	<Axis unit="deg">	乱視軸(°)	int	○
	<SE unit="D">	等価球面度数(D)	double	△
	<ADD unit="D">	加入度数(D)	double	△
	<ADD2 unit="D">	第二加入度数(D)	double	△
	<NearSphere unit="D">	近用部球面度数(D)	double	△
	<NearSphere2 unit="D">	第二近用部球面度数(D)	double	△
	<Prism unit="pri">	プリズム度数(△)	double	△
	<PrismBase unit="deg">	プリズムベース角度(°)	int	△
	<PrismX unit="pri" base="out">	水平プリズム度数(△) (base=in,out)	double	△
	<PrismY unit="pri" base="up">	垂直プリズム度数(△) (base=up,down)	double	△
	<UVTransmittance unit="%">	UV 透過率(%)	int	△
	<ConfidenceIndex>※6	信頼係数	string(64 文字)	△
<L>		左側測定値(エラーの場合)		
	<Error>※6	エラー情報	string(64 文字)	△
<PD>		瞳孔間距離	-	
	<Distance unit="mm">	遠用部瞳孔間距離	double	△
	<DistanceR unit="mm">	遠用部右側瞳孔間距離	double	△
	<DistanceL unit="mm">	遠用部左側瞳孔間距離	double	△
	<Near unit="mm">	近用部瞳孔間距離	double	△
	<NearR unit="mm">	近用部右側瞳孔間距離	double	△
	<NearL unit="mm">	近用部左側瞳孔間距離	double	△
この箇所には、各社固有の任意のタグ定義を可とする				any

※1 : <MeasureMode>タグの各データ型の意味は以下の通りです。

“Normal” = 単焦点および多重焦点レンズ

“Progressive” = 累進レンズ

“Contact” = コンタクトレンズ

※2 : <CylinderMode>タグの各データ型の意味は以下の通りです。

“+” = 乱視度数の符号は常にプラス

“-” = 乱視度数の符号は常にマイナス

“mix” = 全ての経線の屈折値がプラスの場合、乱視度数の符号はプラス。それ以外の場合の符号はマイナス。

※3 : <PrismMode>タグの各データ型の意味は以下の通りです。

“pb” = 極座標 (<Prism unit=“pri”> と<PrismBase unit=“deg”>タグを使用する)

“xy” = xy 座標 (<PrismX unit=“pri” base=“out”> と<PrismY unit=“pri” base=“up”>タグを使用する)

※4 : <AddMode>タグの各データ型の意味は以下の通りです。

“add” = 加入度数 (<ADD unit=“D”> と<ADD2 unit=“D”>タグを使用する)

“nsph” = 近用度数 (<NearSphere unit=“D”> と<NearSphere2 unit=“D”>タグを使用する)

※5 : <S>タグはレンズのシングル測定に使われます。(例えば、左右眼に特定しないもの)

※6 : <ConfidenceIndex>タグ及び<Error>タグのストリングデータはメーカーが定めた仕様であり、JOIA では定義しません。

4. 名前空間について

4-1. 名前空間の定義

データ種別毎に XML 名前空間を定義します。

各データ種別に付く接頭辞は以下となります。

データ種別	XML 名前空間 接頭辞
共通データ	nsCommon
レフデータ	nsREF
ケラトデータ	nsKM
眼圧データ	nsTM
レンズメーターデータ	nsLM
・	・
・	・

5. スキーマ定義ファイルについて

5-1. スキーマファイル

各データ種別のタグ定義はスキーマファイルに記載されます。スキーマファイルはデータ種別毎に用意します。

データ種別	XML 名前空間 接頭辞
共通データ	Common_schema.xsd
レフデータ	REF_schema.xsd
ケラトデータ	KM_schema.xsd
眼圧データ	TM_schema.xsd
レンズメーターデータ	LM_schema.xsd
・	・
・	・

○ レフデータ XML ファイル例

```
=====
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
```

```
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="REF_Stylesheet.xsl" ?>
```

```
<Ophthalmology xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xmlns:nsCommon="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/Common"
xmlns:nsREF="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/REF"
xsi:schemaLocation="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/Common Common_schema.xsd
http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/REF REF_schema.xsd">
```

```
<nsCommon:Common>
```

```
<nsCommon:Company>ABCD</nsCommon:Company>
<nsCommon:ModelName>ABC-123</nsCommon:ModelName>
<nsCommon:MachineNo>1234</nsCommon:MachineNo>
<nsCommon:ROMVersion>1.0</nsCommon:ROMVersion>
<nsCommon:Version>1.4</nsCommon:Version>
<nsCommon:Date>2008-09-01</nsCommon:Date>
<nsCommon:Time>19:36:28</nsCommon:Time>
```

```
<nsCommon:Patient>
```

```
<nsCommon:No.>123456</nsCommon:No.>
<nsCommon:ID>ABCDEFG</nsCommon:ID>
<nsCommon:FirstName>TARO</nsCommon:FirstName>
<nsCommon:MiddleName></nsCommon:MiddleName>
<nsCommon:LastName>TANAKA</nsCommon:LastName>
<nsCommon:Sex>M</nsCommon:Sex>
<nsCommon:Age>18</nsCommon:Age>
<nsCommon:DOB>1975-08-16</nsCommon:DOB>
<nsCommon:NameJ1>田中 太郎</nsCommon:NameJ1>
<nsCommon:NameJ2>たなか たろう</nsCommon:NameJ2>
```

```
</nsCommon:Patient>
```

```
<nsCommon:Operator>
```

```
<nsCommon:No.>123456</nsCommon:No.>
<nsCommon:ID>ABCDEFG</nsCommon:ID>
```

```
</nsCommon:Operator>
```

```
</nsCommon:Common>
```

```
<nsREF:Measure type="REF">
```

```
<nsREF:VD unit="mm">12.00</nsREF:VD>
<nsREF:DiopterStep unit="D">0.25</nsREF:DiopterStep>
<nsREF:AxisStep unit="deg">5</nsREF:AxisStep>
<nsREF:CylinderMode>-</nsREF:CylinderMode>
```

```
<nsREF:REF>
```

```
<nsREF:R>
```

```
<nsREF:List No="1">
```

```
<nsREF:Sphere unit="D">-2.50</nsREF:Sphere>
<nsREF:Cylinder unit="D">0.25</nsREF:Cylinder>
<nsREF:Axis unit="deg">180</nsREF:Axis>
<nsREF:SE unit="D"></nsREF:SE>
<nsREF:CataractMode>on</nsREF:CataractMode>
<nsREF:IOLMode>on</nsREF:IOLMode>
<nsREF:ConfidenceIndex>9</nsREF:ConfidenceIndex>
</nsREF:List>
<nsREF:List No="2">
  <nsREF>Error></nsREF>Error>
</nsREF:List>
<nsREF:List No="3">
  <nsREF:Sphere unit="D">-0.50</nsREF:Sphere>
  <nsREF:Cylinder unit="D">0.50</nsREF:Cylinder>
  <nsREF:Axis unit="deg">90</nsREF:Axis>
  <nsREF:SE unit="D">-2.75</nsREF:SE>
  <nsREF:CataractMode>on</nsREF:CataractMode>
  <nsREF:IOLMode>on</nsREF:IOLMode>
  <nsREF:ConfidenceIndex>5</nsREF:ConfidenceIndex>
</nsREF:List>
</nsREF:R>
<nsREF:L>
  <nsREF:List No="1">
    <nsREF:Sphere unit="D">-2.50</nsREF:Sphere>
    <nsREF:Cylinder unit="D">0.50</nsREF:Cylinder>
    <nsREF:Axis unit="deg">180</nsREF:Axis>
    <nsREF:SE unit="D">-2.75</nsREF:SE>
    <nsREF:CataractMode>on</nsREF:CataractMode>
    <nsREF:IOLMode>on</nsREF:IOLMode>
    <nsREF:ConfidenceIndex>9</nsREF:ConfidenceIndex>
  </nsREF:List>
  <nsREF:List No="2">
    <nsREF:Sphere unit="D">-2.50</nsREF:Sphere>
    <nsREF:Cylinder unit="D">0.50</nsREF:Cylinder>
    <nsREF:Axis unit="deg">180</nsREF:Axis>
    <nsREF:SE unit="D">-2.75</nsREF:SE>
    <nsREF:CataractMode>on</nsREF:CataractMode>
    <nsREF:IOLMode>on</nsREF:IOLMode>
    <nsREF:ConfidenceIndex>9</nsREF:ConfidenceIndex>
  </nsREF:List>
  <nsREF:List No="3">
    <nsREF:Sphere unit="D">-2.50</nsREF:Sphere>
    <nsREF:Cylinder unit="D">0.50</nsREF:Cylinder>
    <nsREF:Axis unit="deg">180</nsREF:Axis>
    <nsREF:SE unit="D">-2.75</nsREF:SE>
    <nsREF:CataractMode>on</nsREF:CataractMode>
    <nsREF:IOLMode>on</nsREF:IOLMode>
    <nsREF:ConfidenceIndex>9</nsREF:ConfidenceIndex>
  </nsREF:List>
  <nsREF:List No="4">
    <nsREF:Sphere unit="D">-2.50</nsREF:Sphere>
    <nsREF:Cylinder unit="D">0.50</nsREF:Cylinder>
    <nsREF:Axis unit="deg">180</nsREF:Axis>
    <nsREF:SE unit="D">-2.75</nsREF:SE>
    <nsREF:CataractMode>on</nsREF:CataractMode>
    <nsREF:IOLMode>on</nsREF:IOLMode>
    <nsREF:ConfidenceIndex>E</nsREF:ConfidenceIndex>
```

```
</nsREF:List>
<nsREF:List No="5">
  <nsREF:Sphere unit="D">-0.50</nsREF:Sphere>
  <nsREF:Cylinder unit="D">0.50</nsREF:Cylinder>
  <nsREF:Axis unit="deg">90</nsREF:Axis>
  <nsREF:SE unit="D">-2.75</nsREF:SE>
  <nsREF:CataractMode>on</nsREF:CataractMode>
  <nsREF:IOLMode>on</nsREF:IOLMode>
  <nsREF:ConfidenceIndex>5</nsREF:ConfidenceIndex>
</nsREF:List>
<nsREF:List No="6">
  <nsREF:Sphere unit="D">+0.50</nsREF:Sphere>
  <nsREF:Cylinder unit="D">1.50</nsREF:Cylinder>
  <nsREF:Axis unit="deg">180</nsREF:Axis>
  <nsREF:SE unit="D">-2.75</nsREF:SE>
  <nsREF:CataractMode>on</nsREF:CataractMode>
  <nsREF:IOLMode>on</nsREF:IOLMode>
  <nsREF:ConfidenceIndex>6</nsREF:ConfidenceIndex>
</nsREF:List>
<nsREF:Median>
  <nsREF:Sphere unit="D">-2.50</nsREF:Sphere>
  <nsREF:Cylinder unit="D">0.50</nsREF:Cylinder>
  <nsREF:Axis unit="deg">180</nsREF:Axis>
  <nsREF:SE unit="D">-2.75</nsREF:SE>
</nsREF:Median>
</nsREF:L>

</nsREF:REF>

<nsREF:PD>
  <nsREF:WorkingDistance unit="cm">40</nsREF:WorkingDistance>
  <nsREF:Distance unit="mm">62.5</nsREF:Distance>
  <nsREF:Near unit="mm">60.5</nsREF:Near>
</nsREF:PD>

<(独自タグ)>
  .
  .
  .
</(独自タグ)>

</nsREF:Measure>

</Ophthalmology>
```

ここに各社の独自のタグを指定します。
名前空間定義から外れるので、接頭辞は
必要ありません。

○ ケラトデータ XML ファイル例

```
=====
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
```

```
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="KM_Stylesheet.xsl" ?>
```

```
<Ophthalmology xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xmlns:nsCommon="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/Common"
xmlns:nsREF="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/KM"
xsi:schemaLocation="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/Common Common_schema.xsd
http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/KM KM_schema.xsd">
```

```
<nsCommon:Common>
```

```
<nsCommon:Company>ABCD</nsCommon:Company>
<nsCommon:ModelName>ABC-123</nsCommon:ModelName>
<nsCommon:MachineNo>1234</nsCommon:MachineNo>
<nsCommon:ROMVersion>1.0</nsCommon:ROMVersion>
<nsCommon:Version>1.4</nsCommon:Version>
<nsCommon:Date>2008-09-01</nsCommon:Date>
<nsCommon:Time>19:36:28</nsCommon:Time>
```

```
<nsCommon:Patient>
```

```
<nsCommon:No.>123456</nsCommon:No.>
<nsCommon:ID>ABCDEFG</nsCommon:ID>
<nsCommon:FirstName>TARO</nsCommon:FirstName>
<nsCommon:MiddleName></nsCommon:MiddleName>
<nsCommon:LastName>TANAKA</nsCommon:LastName>
<nsCommon:Sex>M</nsCommon:Sex>
<nsCommon:Age>18</nsCommon:Age>
<nsCommon:DOB>1975-08-16</nsCommon:DOB>
<nsCommon:NameJ1>田中 太郎</nsCommon:NameJ1>
<nsCommon:NameJ2>たなか たろう</nsCommon:NameJ2>
```

```
</nsCommon:Patient>
```

```
<nsCommon:Operator>
```

```
<nsCommon:No.>123456</nsCommon:No.>
<nsCommon:ID>ABCDEFG</nsCommon:ID>
```

```
</nsCommon:Operator>
```

```
</nsCommon:Common>
```

```
<nsKM:Measure type="KM">
```

```
<nsKM:DiopterStep unit="D">0.25</nsKM:DiopterStep>
<nsKM:AxisStep unit="deg">5</nsKM:AxisStep>
<nsKM:CylinderMode>-</nsKM:CylinderMode>
<nsKM:RefractiveIndex>1.3375</nsKM:RefractiveIndex>
```

```
<nsKM:KM>
```

```
<nsKM:R>
```

```
<nsKM:List No="1">
```

```
<nsKM:R1>
```

```
<nsKM:Radius unit="mm">8.05</nsKM:Radius>
```

```
<nsKM:Power unit="D">45.00</nsKM:Power>
<nsKM:Axis unit="deg">180</nsKM:Axis>
</nsKM:R1>
<nsKM:R2>
  <nsKM:Radius unit="mm">7.65</nsKM:Radius>
  <nsKM:Power unit="D">44.95</nsKM:Power>
  <nsKM:Axis unit="deg">68</nsKM:Axis>
</nsKM:R2>
<nsKM:Average>
  <nsKM:Radius unit="mm">7.85</nsKM:Radius>
  <nsKM:Power unit="D">43.35</nsKM:Power>
</nsKM:Average>
<nsKM:Cylinder>
  <nsKM:Power unit="D">-2.50</nsKM:Power>
  <nsKM:Axis unit="deg">150</nsKM:Axis>
</nsKM:Cylinder>
</nsKM>List>
<nsKM>List No="2">
  <nsKM>Error></nsKM>Error>
</nsKM>List>
<nsKM>List No="3">
  <nsKM:R1>
    <nsKM:Radius unit="mm">8.05</nsKM:Radius>
    <nsKM:Power unit="D">45.00</nsKM:Power>
    <nsKM:Axis unit="deg">180</nsKM:Axis>
  </nsKM:R1>
  <nsKM:R2>
    <nsKM:Radius unit="mm">7.65</nsKM:Radius>
    <nsKM:Power unit="D">44.95</nsKM:Power>
    <nsKM:Axis unit="deg">68</nsKM:Axis>
  </nsKM:R2>
  <nsKM:Average>
    <nsKM:Radius unit="mm">7.85</nsKM:Radius>
    <nsKM:Power unit="D">43.35</nsKM:Power>
  </nsKM:Average>
  <nsKM:Cylinder>
    <nsKM:Power unit="D">-2.50</nsKM:Power>
    <nsKM:Axis unit="deg">150</nsKM:Axis>
  </nsKM:Cylinder>
</nsKM>List>
</nsKM:R>
<nsKM:L>
  <nsKM>List No="1">
    <nsKM:R1>
      <nsKM:Radius unit="mm">8.04</nsKM:Radius>
      <nsKM:Power unit="D">42.00</nsKM:Power>
      <nsKM:Axis unit="deg">133</nsKM:Axis>
    </nsKM:R1>
    <nsKM:R2>
      <nsKM:Radius unit="mm">7.54</nsKM:Radius>
      <nsKM:Power unit="D">44.75</nsKM:Power>
      <nsKM:Axis unit="deg">43</nsKM:Axis>
    </nsKM:R2>
    <nsKM:Average>
      <nsKM:Radius unit="mm">7.65</nsKM:Radius>
      <nsKM:Power unit="D">43.25</nsKM:Power>
    </nsKM:Average>
```

```
<nsKM:Cylinder>
  <nsKM:Power unit="D">-2.75</nsKM:Power>
  <nsKM:Axis unit="deg">133</nsKM:Axis>
</nsKM:Cylinder>
</nsKM>List>
<nsKM>List No="2">
  <nsKM:R1>
    <nsKM:Radius unit="mm">8.04</nsKM:Radius>
    <nsKM:Power unit="D">42.00</nsKM:Power>
    <nsKM:Axis unit="deg">133</nsKM:Axis>
  </nsKM:R1>
  <nsKM:R2>
    <nsKM:Radius unit="mm">7.54</nsKM:Radius>
    <nsKM:Power unit="D">44.75</nsKM:Power>
    <nsKM:Axis unit="deg">43</nsKM:Axis>
  </nsKM:R2>
  <nsKM:Average>
    <nsKM:Radius unit="mm">7.65</nsKM:Radius>
    <nsKM:Power unit="D">43.25</nsKM:Power>
  </nsKM:Average>
  <nsKM:Cylinder>
    <nsKM:Power unit="D">-2.75</nsKM:Power>
    <nsKM:Axis unit="deg">133</nsKM:Axis>
  </nsKM:Cylinder>
</nsKM>List>
<nsKM>List No="3">
  <nsKM:R1>
    <nsKM:Radius unit="mm">7.85</nsKM:Radius>
    <nsKM:Power unit="D">43.75</nsKM:Power>
    <nsKM:Axis unit="deg">180</nsKM:Axis>
  </nsKM:R1>
  <nsKM:R2>
    <nsKM:Radius unit="mm">8.25</nsKM:Radius>
    <nsKM:Power unit="D">44.80</nsKM:Power>
    <nsKM:Axis unit="deg">90</nsKM:Axis>
  </nsKM:R2>
  <nsKM:Average>
    <nsKM:Radius unit="mm">7.65</nsKM:Radius>
    <nsKM:Power unit="D">43.50</nsKM:Power>
  </nsKM:Average>
  <nsKM:Cylinder>
    <nsKM:Power unit="D">+2.25</nsKM:Power>
    <nsKM:Axis unit="deg">133</nsKM:Axis>
  </nsKM:Cylinder>
</nsKM>List>
<nsKM>List No="4">
  <nsKM:R1>
    <nsKM:Radius unit="mm">8.50</nsKM:Radius>
    <nsKM:Power unit="D">42.00</nsKM:Power>
    <nsKM:Axis unit="deg">133</nsKM:Axis>
  </nsKM:R1>
  <nsKM:R2>
    <nsKM:Radius unit="mm">8.54</nsKM:Radius>
    <nsKM:Power unit="D">42.35</nsKM:Power>
    <nsKM:Axis unit="deg">180</nsKM:Axis>
  </nsKM:R2>
  <nsKM:Average>
```

```
        <nsKM:Radius unit="mm">7.65</nsKM:Radius>
        <nsKM:Power unit="D">43.25</nsKM:Power>
    </nsKM:Average>
    <nsKM:Cylinder>
        <nsKM:Power unit="D">-0.25</nsKM:Power>
        <nsKM:Axis unit="deg">133</nsKM:Axis>
    </nsKM:Cylinder>
</nsKM>List>
<nsKM>List No="5">
    <nsKM:R1>
        <nsKM:Radius unit="mm">8.04</nsKM:Radius>
        <nsKM:Power unit="D">42.00</nsKM:Power>
        <nsKM:Axis unit="deg">133</nsKM:Axis>
    </nsKM:R1>
    <nsKM:R2>
        <nsKM:Radius unit="mm">7.54</nsKM:Radius>
        <nsKM:Power unit="D">44.75</nsKM:Power>
        <nsKM:Axis unit="deg">43</nsKM:Axis>
    </nsKM:R2>
    <nsKM:Average>
        <nsKM:Radius unit="mm">7.65</nsKM:Radius>
        <nsKM:Power unit="D">43.25</nsKM:Power>
    </nsKM:Average>
    <nsKM:Cylinder>
        <nsKM:Power unit="D">-2.75</nsKM:Power>
        <nsKM:Axis unit="deg">133</nsKM:Axis>
    </nsKM:Cylinder>
</nsKM>List>
<nsKM:Median>
    <nsKM:R1>
        <nsKM:Radius unit="mm">7.25</nsKM:Radius>
        <nsKM:Power unit="D">42.50</nsKM:Power>
        <nsKM:Axis unit="deg">180</nsKM:Axis>
    </nsKM:R1>
    <nsKM:R2>
        <nsKM:Radius unit="mm">7.54</nsKM:Radius>
        <nsKM:Power unit="D">44.75</nsKM:Power>
        <nsKM:Axis unit="deg">43</nsKM:Axis>
    </nsKM:R2>
    <nsKM:Average>
        <nsKM:Radius unit="mm">7.65</nsKM:Radius>
        <nsKM:Power unit="D">43.25</nsKM:Power>
    </nsKM:Average>
    <nsKM:Cylinder>
        <nsKM:Power unit="D">-2.75</nsKM:Power>
        <nsKM:Axis unit="deg">133</nsKM:Axis>
    </nsKM:Cylinder>
</nsKM:Median>
</nsKM:L>
</nsKM:KM>

<nsKM:Pupil>
    <nsKM:R>
        <nsKM:PupilSize unit="mm" Lamp="on">3.5</nsKM:PupilSize>
    </nsKM:R>
    <nsKM:L>
        <nsKM:PupilSize unit="mm" Lamp="on">3.0</nsKM:PupilSize>
```

```
</nsKM:L>
</nsKM:Pupil>

<nsKM:Corneal>
  <nsKM:R>
    <nsKM:CornealSize unit="mm">2.5</nsKM:CornealSize>
  </nsKM:R>
  <nsKM:L>
    <nsKM:CornealSize unit="mm">2.0</nsKM:CornealSize>
  </nsKM:L>
</nsKM:Corneal>
```

```
<(独自タグ)>
.
.
.
</(独自タグ)>
```

ここに各社の独自のタグを指定します。
名前空間定義から外れるので、接頭辞は
必要ありません。

```
</nsKM:Measure>
```

```
</Ophthalmology>
```

○ 眼圧データ XML ファイル例

```
=====
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>

<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="TM_Stylesheet.xsl" ?>

<Ophthalmology xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xmlns:nsCommon="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/Common"
xmlns:nsTM="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/TM"
xsi:schemaLocation="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/Common Common_schema.xsd
http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/TM TM_schema.xsd">

  <nsCommon:Common>

    <nsCommon:Company>ABCD</nsCommon:Company>
    <nsCommon:ModelName>ABC-123</nsCommon:ModelName>
    <nsCommon:MachineNo>1234</nsCommon:MachineNo>
    <nsCommon:ROMVersion>1.0</nsCommon:ROMVersion>
    <nsCommon:Version>1.4</nsCommon:Version>
    <nsCommon:Date>2008-09-01</nsCommon:Date>
    <nsCommon:Time>19:36:28</nsCommon:Time>

    <nsCommon:Patient>
      <nsCommon:No.>123456</nsCommon:No.>
      <nsCommon:ID>ABCDEFG</nsCommon:ID>
      <nsCommon:FirstName>TARO</nsCommon:FirstName>
      <nsCommon:MiddleName></nsCommon:MiddleName>
      <nsCommon:LastName>TANAKA</nsCommon:LastName>
      <nsCommon:Sex>M</nsCommon:Sex>
      <nsCommon:Age>18</nsCommon:Age>
      <nsCommon:DOB>1975-08-16</nsCommon:DOB>
      <nsCommon:NameJ1>田中 太郎</nsCommon:NameJ1>
      <nsCommon:NameJ2>たなか たろう</nsCommon:NameJ2>
    </nsCommon:Patient>

    <nsCommon:Operator>
      <nsCommon:No.>123456</nsCommon:No.>
      <nsCommon:ID>ABCDEFG</nsCommon:ID>
    </nsCommon:Operator>

  </nsCommon:Common>

  <nsTM:Measure type="TM">

    <nsTM:TM>
      <nsTM:R>
        <nsTM:List No="1">
          <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">24.0</nsTM:IOP_mmHg>
          <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">3.2</nsTM:IOP_Pa>
          <nsTM:ConfidenceIndex></nsTM:ConfidenceIndex>
        </nsTM:List>
        <nsTM:List No="2">
          <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">21.0</nsTM:IOP_mmHg>
          <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.8</nsTM:IOP_Pa>
          <nsTM:ConfidenceIndex>*</nsTM:ConfidenceIndex>
        </nsTM:List>
      </nsTM:R>
    </nsTM:TM>
  </nsTM:Measure>
</Ophthalmology>
```

```
</nsTM:List>
<nsTM:List No="3">
  <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">22.0</nsTM:IOP_mmHg>
  <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.9</nsTM:IOP_Pa>
  <nsTM:ConfidenceIndex></nsTM:ConfidenceIndex>
</nsTM:List>
<nsTM:Average>
  <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">22.3</nsTM:IOP_mmHg>
  <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.97</nsTM:IOP_Pa>
</nsTM:Average>
</nsTM:R>
<nsTM:L>
  <nsTM:List No="1">
    <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">24.0</nsTM:IOP_mmHg>
    <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">3.2</nsTM:IOP_Pa>
    <nsTM:ConfidenceIndex>*</nsTM:ConfidenceIndex>
  </nsTM:List>
  <nsTM:List No="2">
    <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">21.0</nsTM:IOP_mmHg>
    <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.8</nsTM:IOP_Pa>
    <nsTM:ConfidenceIndex></nsTM:ConfidenceIndex>
  </nsTM:List>
  <nsTM:List No="3">
    <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">22.0</nsTM:IOP_mmHg>
    <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.9</nsTM:IOP_Pa>
    <nsTM:ConfidenceIndex></nsTM:ConfidenceIndex>
  </nsTM:List>
  <nsTM:List No="4">
    <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">24.0</nsTM:IOP_mmHg>
    <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">3.2</nsTM:IOP_Pa>
    <nsTM:ConfidenceIndex></nsTM:ConfidenceIndex>
  </nsTM:List>
  <nsTM:List No="5">
    <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">21.0</nsTM:IOP_mmHg>
    <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.8</nsTM:IOP_Pa>
    <nsTM:ConfidenceIndex>*</nsTM:ConfidenceIndex>
  </nsTM:List>
  <nsTM:List No="6">
    <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">22.0</nsTM:IOP_mmHg>
    <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.9</nsTM:IOP_Pa>
    <nsTM:ConfidenceIndex>*</nsTM:ConfidenceIndex>
  </nsTM:List>
  <nsTM:List No="7">
    <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">24.0</nsTM:IOP_mmHg>
    <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">3.2</nsTM:IOP_Pa>
    <nsTM:ConfidenceIndex></nsTM:ConfidenceIndex>
  </nsTM:List>
  <nsTM:List No="8">
    <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">21.0</nsTM:IOP_mmHg>
    <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.8</nsTM:IOP_Pa>
    <nsTM:ConfidenceIndex>*</nsTM:ConfidenceIndex>
  </nsTM:List>
  <nsTM:List No="9">
    <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">22.0</nsTM:IOP_mmHg>
    <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.9</nsTM:IOP_Pa>
    <nsTM:ConfidenceIndex>*</nsTM:ConfidenceIndex>
  </nsTM:List>
```

```
<nsTM:List No="10">
  <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">24.0</nsTM:IOP_mmHg>
  <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">3.2</nsTM:IOP_Pa>
  <nsTM:ConfidenceIndex>*</nsTM:ConfidenceIndex>
</nsTM:List>
<nsTM:Average>
  <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">22.5</nsTM:IOP_mmHg>
  <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.99</nsTM:IOP_Pa>
</nsTM:Average>
</nsTM:L>
</nsTM:TM>

<nsTM:CorrectedIOP>
  <nsTM:Formula1 No="1">
    <nsTM:R>
      <nsTM:Param1 unit="mm">0.554</nsTM:Param1>
      <nsTM:Param2>0.0450</nsTM:Param2>
      <nsTM:CCT unit="mm">0.588</nsTM:CCT>
      <nsTM:Measured>
        <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">22.3</nsTM:IOP_mmHg>
        <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.97</nsTM:IOP_Pa>
      </nsTM:Measured>
      <nsTM:Corrected>
        <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">20.8</nsTM:IOP_mmHg>
        <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.77</nsTM:IOP_Pa>
      </nsTM:Corrected>
    </nsTM:R>
    <nsTM:L>
      <nsTM:Param1 unit="mm">0.554</nsTM:Param1>
      <nsTM:Param2>0.0450</nsTM:Param2>
      <nsTM:CCT unit="mm">0.588</nsTM:CCT>
      <nsTM:Measured>
        <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">22.5</nsTM:IOP_mmHg>
        <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.99</nsTM:IOP_Pa>
      </nsTM:Measured>
      <nsTM:Corrected>
        <nsTM:IOP_mmHg unit="mmHg">21.0</nsTM:IOP_mmHg>
        <nsTM:IOP_Pa unit="kPa">2.76</nsTM:IOP_Pa>
      </nsTM:Corrected>
    </nsTM:L>
  </nsTM:Formula1>
</nsTM:CorrectedIOP>
```

```
<(独自タグ)>
.
.
.
</(独自タグ)>
```

ここに各社の独自のタグを指定します。
名前空間定義から外れるので、接頭辞は
必要ありません。

```
</nsTM:Measure>
```

```
</Ophthalmology>
```

○ レンズメーターデータ XML ファイル例

```
=====
<?xml version="1.0" encoding="UTF-16"?>
```

```
<?xml-stylesheet type="text/xsl" href="LM_Stylesheet.xsl" ?>
```

```
<Ophthalmology xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xmlns:nsCommon="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/Common"
xmlns:nsLM="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/LM"
xsi:schemaLocation="http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/Common Common_schema.xsd
http://www.joia.or.jp/standardized/namespaces/LM LM_schema.xsd">
```

```
<nsCommon:Common>
```

```
<nsCommon:Company>ABCD</nsCommon:Company>
<nsCommon:ModelName>ABC-123</nsCommon:ModelName>
<nsCommon:MachineNo>1234</nsCommon:MachineNo>
<nsCommon:ROMVersion>1.0</nsCommon:ROMVersion>
<nsCommon:Version>1.4</nsCommon:Version>
<nsCommon:Date>2008-09-01</nsCommon:Date>
<nsCommon:Time>19:36:28</nsCommon:Time>
```

```
<nsCommon:Patient>
```

```
<nsCommon:No.>123456</nsCommon:No.>
<nsCommon:ID>ABCDEFG</nsCommon:ID>
<nsCommon:FirstName>TARO</nsCommon:FirstName>
<nsCommon:MiddleName></nsCommon:MiddleName>
<nsCommon:LastName>TANAKA</nsCommon:LastName>
<nsCommon:Sex>M</nsCommon:Sex>
<nsCommon:Age>18</nsCommon:Age>
<nsCommon:DOB>1975-08-16</nsCommon:DOB>
<nsCommon:NameJ1>田中 太郎</nsCommon:NameJ1>
<nsCommon:NameJ2>たなか たろう</nsCommon:NameJ2>
```

```
</nsCommon:Patient>
```

```
<nsCommon:Operator>
```

```
<nsCommon:No.>123456</nsCommon:No.>
<nsCommon:ID>ABCDEFG</nsCommon:ID>
```

```
</nsCommon:Operator>
```

```
</nsCommon:Common>
```

```
<nsLM:Measure type="LM">
```

```
<nsLM:MeasureMode>Progressive</nsLM:MeasureMode>
<nsLM:DiopterStep unit="D">0.25</nsLM:DiopterStep>
<nsLM:AxisStep unit="deg">1</nsLM:AxisStep>
<nsLM:CylinderMode>-</nsLM:CylinderMode>
<nsLM:PrismDiopterStep unit="pri">0.25</nsLM:PrismDiopterStep>
<nsLM:PrismBaseStep unit="deg">1</nsLM:PrismBaseStep>
<nsLM:PrismMode>xy</nsLM:PrismMode>
<nsLM:AddMode>add</nsLM:AddMode>
```

```
<nsLM:LM>
  <nsLM:S>
    <nsLM:Sphere unit="D">-3.00</nsLM:Sphere>
    <nsLM:Cylinder unit="D">-11.00</nsLM:Cylinder>
    <nsLM:Axis unit="deg">180</nsLM:Axis>
    <nsLM:SE unit="D">-8.50</nsLM:SE>
    <nsLM:ADD unit="D">1.50</nsLM:ADD>
    <nsLM:ADD2 unit="D">2.00</nsLM:ADD2>
    <nsLM:NearSphere unit="D">-1.50</nsLM:NearSphere>
    <nsLM:NearSphere2 unit="D">-1.00</nsLM:NearSphere2>
    <nsLM:Prism unit="pri">0.25</nsLM:Prism>
    <nsLM:PrismBase unit="deg">102</nsLM:PrismBase>
    <nsLM:PrismX unit="pri" base="in">0.00</nsLM:PrismX>
    <nsLM:PrismY unit="pri" base="up">0.25</nsLM:PrismY>
    <nsLM:UVTransmittance unit="%">5</nsLM:UVTransmittance>
    <nsLM:ConfidenceIndex>CYL OVERFLOW</nsLM:ConfidenceIndex>
  </nsLM:S>
  <nsLM:R>
    <nsLM:Sphere unit="D">-3.00</nsLM:Sphere>
    <nsLM:Cylinder unit="D">0.00</nsLM:Cylinder>
    <nsLM:Axis unit="deg">0</nsLM:Axis>
    <nsLM:SE unit="D">-3.00</nsLM:SE>
    <nsLM:ADD unit="D">1.50</nsLM:ADD>
    <nsLM:ADD2 unit="D">2.00</nsLM:ADD2>
    <nsLM:NearSphere unit="D">-1.50</nsLM:NearSphere>
    <nsLM:NearSphere2 unit="D">-1.00</nsLM:NearSphere2>
    <nsLM:Prism unit="pri">0.25</nsLM:Prism>
    <nsLM:PrismBase unit="deg">102</nsLM:PrismBase>
    <nsLM:PrismX unit="pri" base="in">0.00</nsLM:PrismX>
    <nsLM:PrismY unit="pri" base="up">0.25</nsLM:PrismY>
    <nsLM:UVTransmittance unit="%">5</nsLM:UVTransmittance>
    <nsLM:ConfidenceIndex></nsLM:ConfidenceIndex>
  </nsLM:R>
  <nsLM:L>
    <nsLM:Sphere unit="D">-2.00</nsLM:Sphere>
    <nsLM:Cylinder unit="D">-1.00</nsLM:Cylinder>
    <nsLM:Axis unit="deg">176</nsLM:Axis>
    <nsLM:SE unit="D">-2.50</nsLM:SE>
    <nsLM:ADD unit="D">1.75</nsLM:ADD>
    <nsLM:ADD2 unit="D">2.00</nsLM:ADD2>
    <nsLM:NearSphere unit="D">-0.25</nsLM:NearSphere>
    <nsLM:NearSphere2 unit="D">0.00</nsLM:NearSphere2>
    <nsLM:Prism unit="pri">2.50</nsLM:Prism>
    <nsLM:PrismBase unit="deg">90</nsLM:PrismBase>
    <nsLM:PrismX unit="pri" base="out">0.00</nsLM:PrismX>
    <nsLM:PrismY unit="pri" base="up">2.50</nsLM:PrismY>
    <nsLM:UVTransmittance unit="%">5</nsLM:UVTransmittance>
    <nsLM:ConfidenceIndex></nsLM:ConfidenceIndex>
  </nsLM:L>
</nsLM:LM>

<nsLM:PD>
  <nsLM:Distance unit="mm">58.5</nsLM:Distance>
  <nsLM:DistanceR unit="mm">29.5</nsLM:DistanceR>
```

```
<nsLM:DistanceL unit="mm">29.0</nsLM:DistanceL>
<nsLM:Near unit="mm"></nsLM:Near>
<nsLM:NearR unit="mm"></nsLM:NearR>
<nsLM:NearL unit="mm"></nsLM:NearL>
</nsLM:PD>
```

```
<(独自タグ)>
.
.
.
</(独自タグ)>
```

ここに各社の独自のタグを指定します。
名前空間定義から外れるので、接頭辞は
必要ありません。

```
</nsLM:Measure>
```

```
</Ophthalmology>
```

改訂履歴

年月日	バージョン	内容／理由
2008/10/21	JOIA・STD 001-1.0-2009	新規制定
2009/08/28	JOIA・STD 001-1.1-2009	改訂内容／ <ul style="list-style-type: none"> ・ タグ定義の必須カラム説明に△印を追加 ・ レフデータのタグ定義に<REF>タグを追加 ・ ケラトデータのタグ定義に<KM>タグを追加 ・ ケラトデータのタグ定義に<RefractiveIndex>、<Corneal>タグを追加 ・ 任意タグの定義位置を変更 ・ 名前空間についての説明項を追加 ・ XML ファイル例を名前空間を使用した例に変更 ・ XML ファイル例を任意タグを使用した例に変更
2010/03/12	JOIA・STD 001-1.2-2010	改訂内容／ <ul style="list-style-type: none"> ・ 眼圧データについての記載を追加
2010/12/7	JOIA・STD 001-1.3-2010	改訂内容／ <ul style="list-style-type: none"> ・ 多国籍名の注意書きを削除 ・ 文字コード指定の追加 ・ 姓名のタグの間違えを修正 ・ 患者 No. を必須としないように修正 ・ 性別の記載方法の明確化 ・ 上記に伴うサンプルの修正
2012/10/17	JOIA・STD 001-1.4-2012	改訂内容／ <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字コード指定に UTF-16 を追加 ・ レンズメーターのタグ定義を追加
2016/07/	JOIA・STD 001-1.5-2016	改訂内容／ <ul style="list-style-type: none"> ・ 1-1. ファイルの取扱いに説明を追加 ・ 共通データに<PatientIDSource>タグと説明を追加 ・ レフデータ以下を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ <CycloplegicMode>タグ ・ <CylinderMode>タグの説明 ・ <ConfidenceIndex>と<Error>タグの説明 ・ <Median>タグの説明 ・ レフデータの<PD>タグの説明を変更 ・ ケラトデータに以下を追加 <ul style="list-style-type: none"> ・ <CylinderMode>タグの説明 ・ <R1>、<R2>タグの説明 ・ <Axis unit="deg">タグの説明 ・ <Error>タグの説明 ・ <PupilSize>タグに Lamp = "off" ・ <CornealSize>タグの説明 ・ ケラトデータの<Average>タグの説明を変更

		<ul style="list-style-type: none">・ ケラトデータの<Average>タグの“mix”を削除・ 眼圧データに以下を追加<ul style="list-style-type: none">・ <ConfidenceIndex>と<Error>タグの説明・ <Corrected IOP>タグの説明・ レンズメータに以下を追加<ul style="list-style-type: none">・ <MeasurementMode>タグの説明・ <CylinderMode>タグの説明・ <PrismMode>タグの説明・ <ADDMode>タグの説明・ <LensLabel>タグ・ <LensLabel>タグの説明・ <S>タグの説明・ <ConfidenceIndex>と<Error>タグの説明・ レンズメータの<PrismDiopterStep>タグを修正。・ レフデータ、ケラトデータとレンズメータデータ XML ファイル例に StyleSheet Type を追加
--	--	--